

業績説明会資料

新中期経営計画
NOF VISION 2025

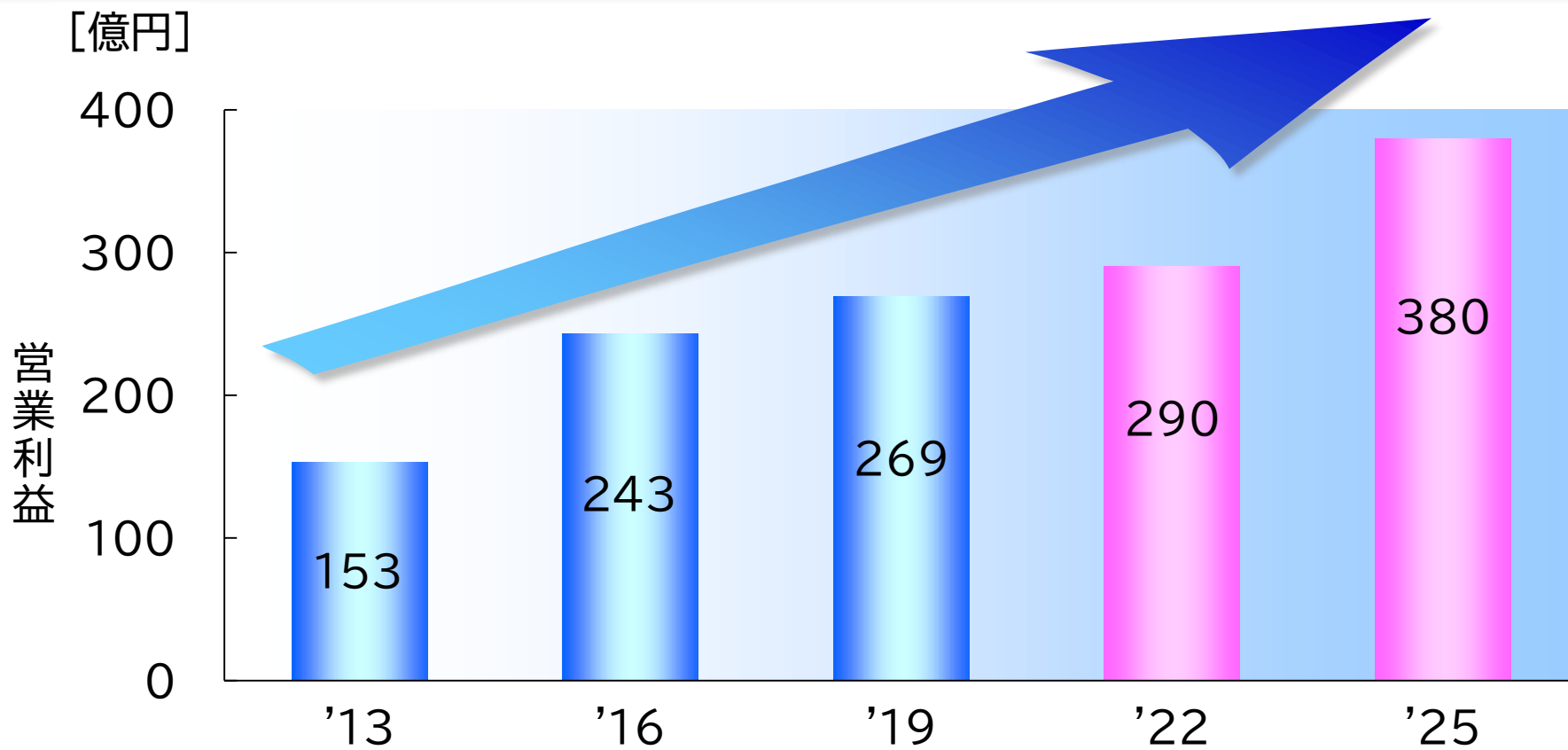
2020年11月19日

 **日油** 株式会社

2025年 ありたい姿に向けて

ビジョン(ありたい姿)

豊かで持続可能な社会実現のため、「ライフ・ヘルスケア」、「電子・情報」、「環境・エネルギー」の3分野において、化学の力で新たな価値を協創する企業グループ



NOF VISION 2025

2022中計・Stage I

基盤強化ステージ

- ・成長分野への積極投資
- ・低採算事業の収益基盤強化

2025中計・Stage II

収益拡大ステージ

- ・収益基盤の確立

持続的成長

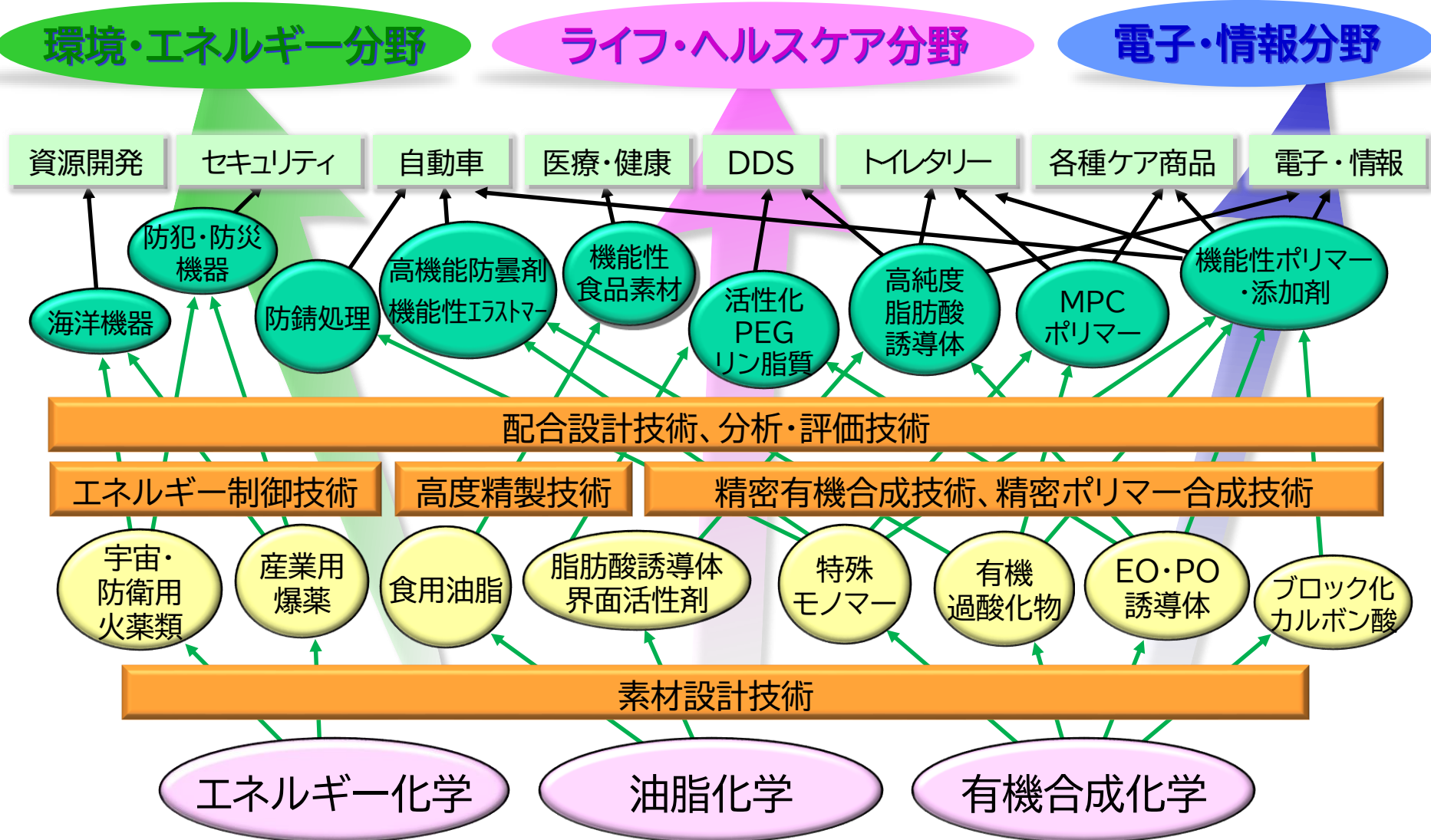
2022年度

営業利益	営業利益率
290億円	15%以上

2025年度

営業利益	営業利益率
380億円	15%以上

日油グループの差別化技術と製品群



日油グループの目指す分野

環境・エネルギー分野

ライフ・ヘルスケア分野



既存製品

新規開発品

次世代新製品

主要製品群の分類

		セグメント		
		機能化学品	ライフサイエンス	化薬
分野	ライフ・ヘルスケア	界面活性剤 (トイレタリー) EO・PO誘導体 (化粧品原料)	食用加工油脂 機能食品関連製品 生体適合性素材 DDS医薬用製剤原料	機能製品 (狭心症患者用製剤原料) (医療用滅菌資材)
	環境・エネルギー	脂肪酸誘導体 (冷凍機用潤滑基材) EO・PO誘導体 (樹脂用添加剤) 有機過酸化物 特殊防錆処理剤		産業用爆薬類 宇宙関連製品 防衛関連製品 機能製品 (建設資材)
	電子・情報	脂肪酸誘導体 (トナー用添加剤) EO・PO誘導体 (セラミックス用分散剤) 機能性モノマー・ポリマー (感光性樹脂材料)		

※ EO・PO:エチレンオキシド・プロピレンオキシド

※ カッコ内は製品例を示す

日油グループを取り巻く想定事業環境

2022中計期間中

- ◆ コロナ感染症による経済活動における制限の継続(~2021年)
 - ・ コロナ禍からの回復時期の不確実性(感染症の再拡大)
- ◆ 新しい行動様式による市場の変化
- ◆ 地政学リスク(為替・原燃料価格の変動)

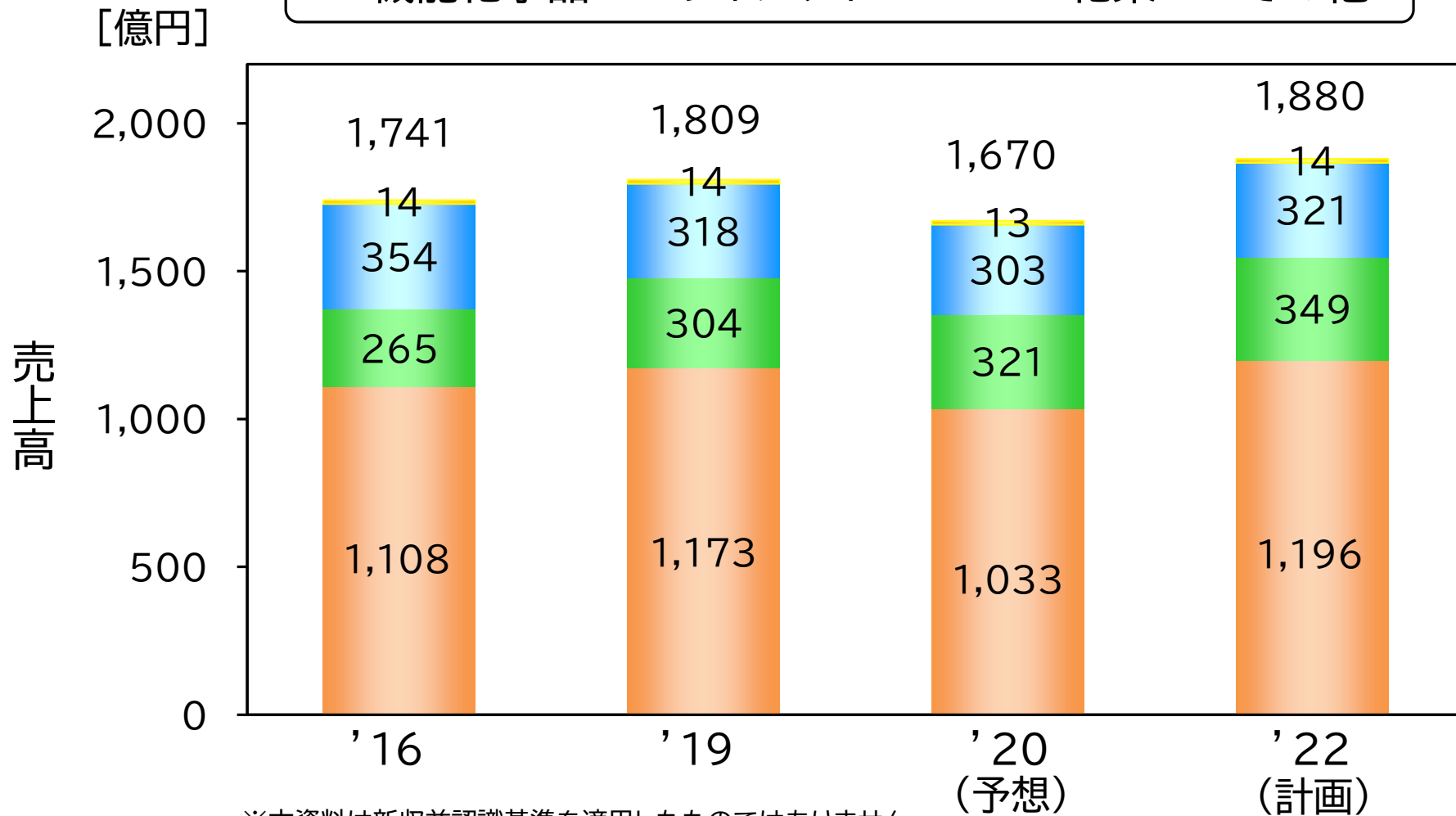
		2019年度 (実績)	2020年度 (想定)	2022中計 (想定)
パーム油 (FOBマレーシア)	US\$/MT	563	645	660
国産ナフサ	円/KL	42,900	29,800	35,000
為替レート	円/US\$	109	106	105
	円/EUR	121	123	120

主要なコロナ禍影響

セグメント	状況
機能化学品	<p>(特殊防錆処理剤・各種添加剤)</p> <ul style="list-style-type: none">・自動車の減産及び一部稼働停止による需要減 <p>(冷凍機用潤滑基材)</p> <ul style="list-style-type: none">・中国を中心としたエアコン向け需要減 <p>(化粧品原料)</p> <ul style="list-style-type: none">・インバウンド需要の消失、外出自粛による需要減 <p>(トナー用添加剤)</p> <ul style="list-style-type: none">・在宅勤務が普及し、ペーパーレス化によるトナーの需要減
ライフサイエンス	<p>(生体適合性素材)</p> <ul style="list-style-type: none">・衛生意識の高まりによるMPC関連製品の需要増 <p>(医薬用製剤原料)</p> <ul style="list-style-type: none">・医薬品原料の需要増
化薬	<p>(機能製品)</p> <ul style="list-style-type: none">・建設資材の需要減

セグメント売上高の推移

■ 機能化学品 ■ ライフサイエンス ■ 化薬 ■ その他

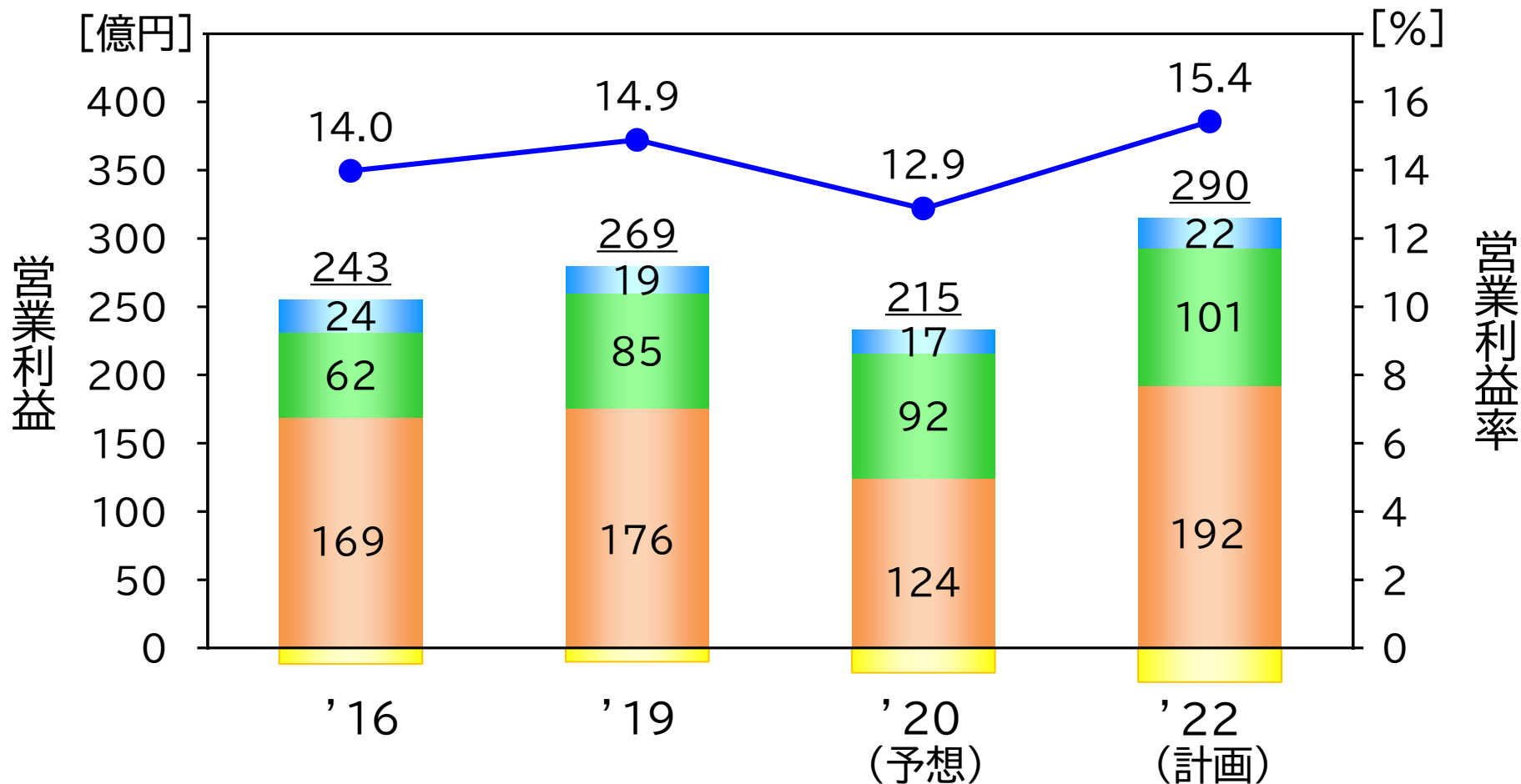


※本資料は新収益認識基準を適用したものではありません

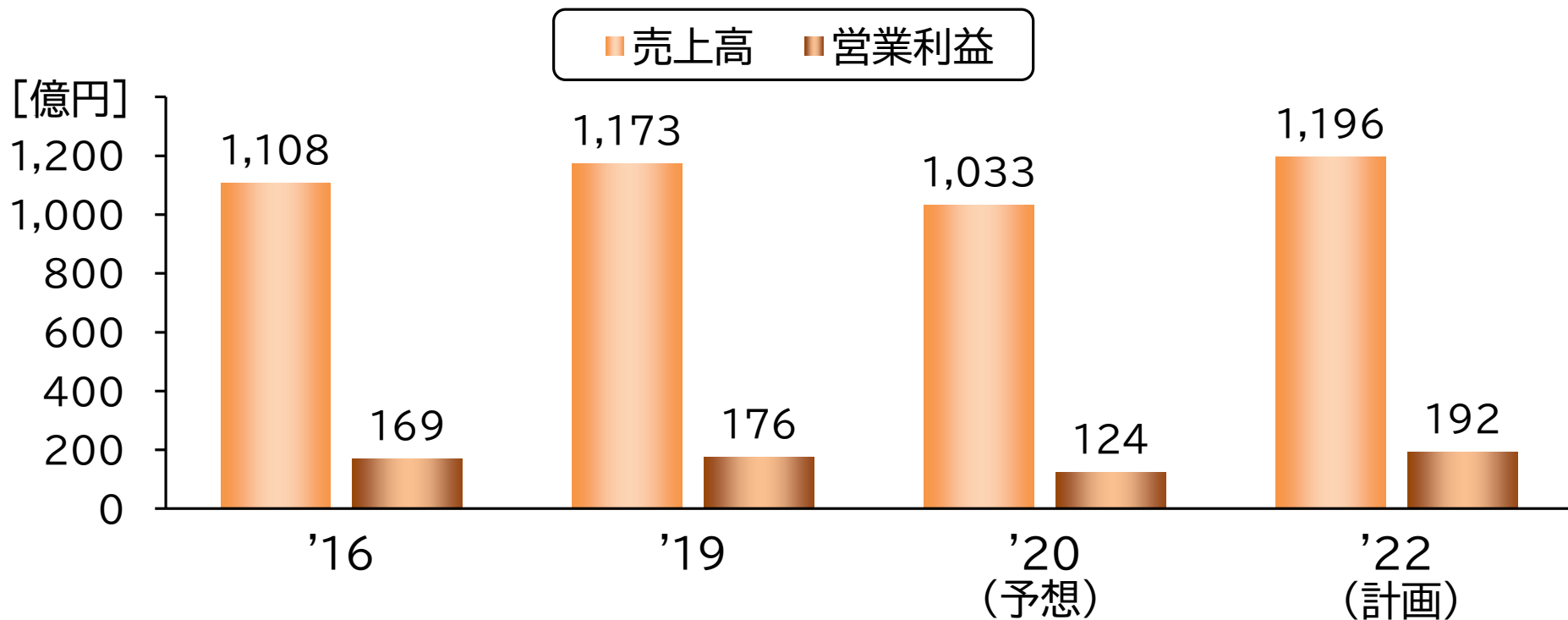
セグメント営業利益・営業利益率の推移

◆ 2022年度に最高益を更新(290億円)

機能化学品 ライフサイエンス 化薬 その他 営業利益率

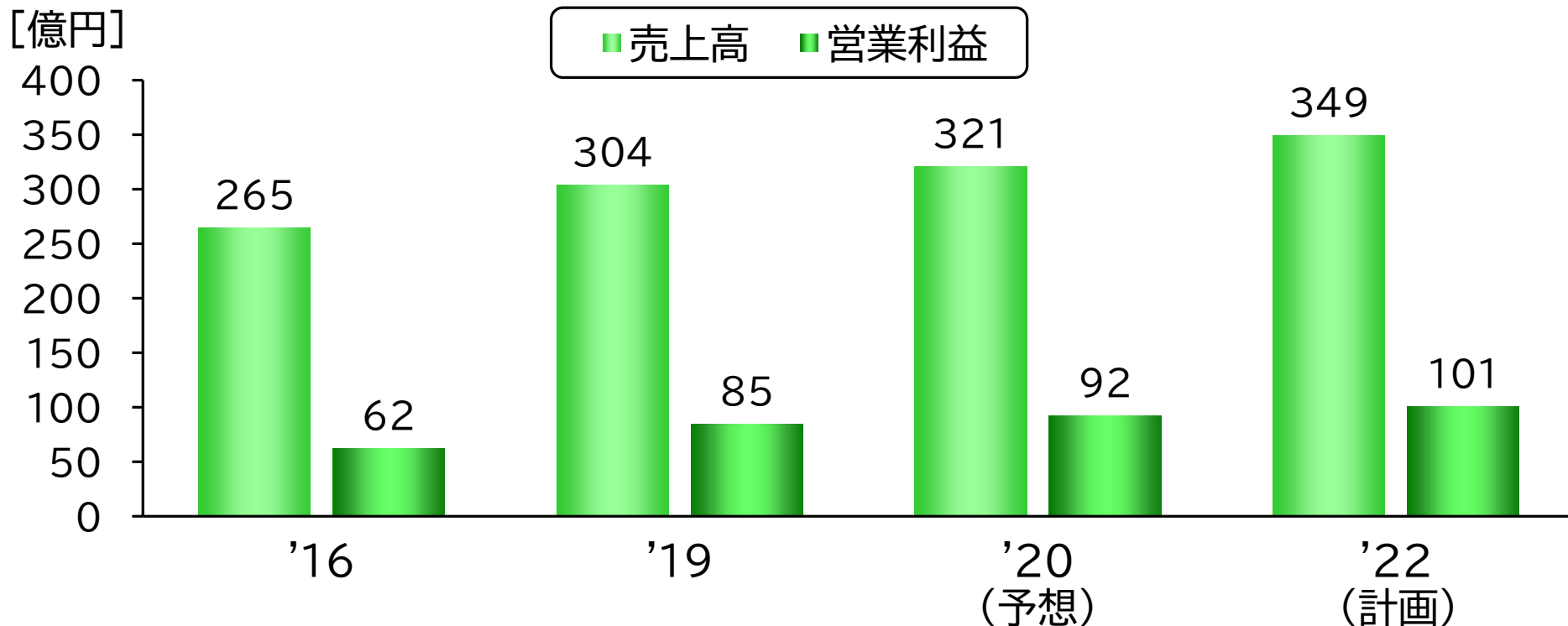


業績推移(機能化学品セグメント)



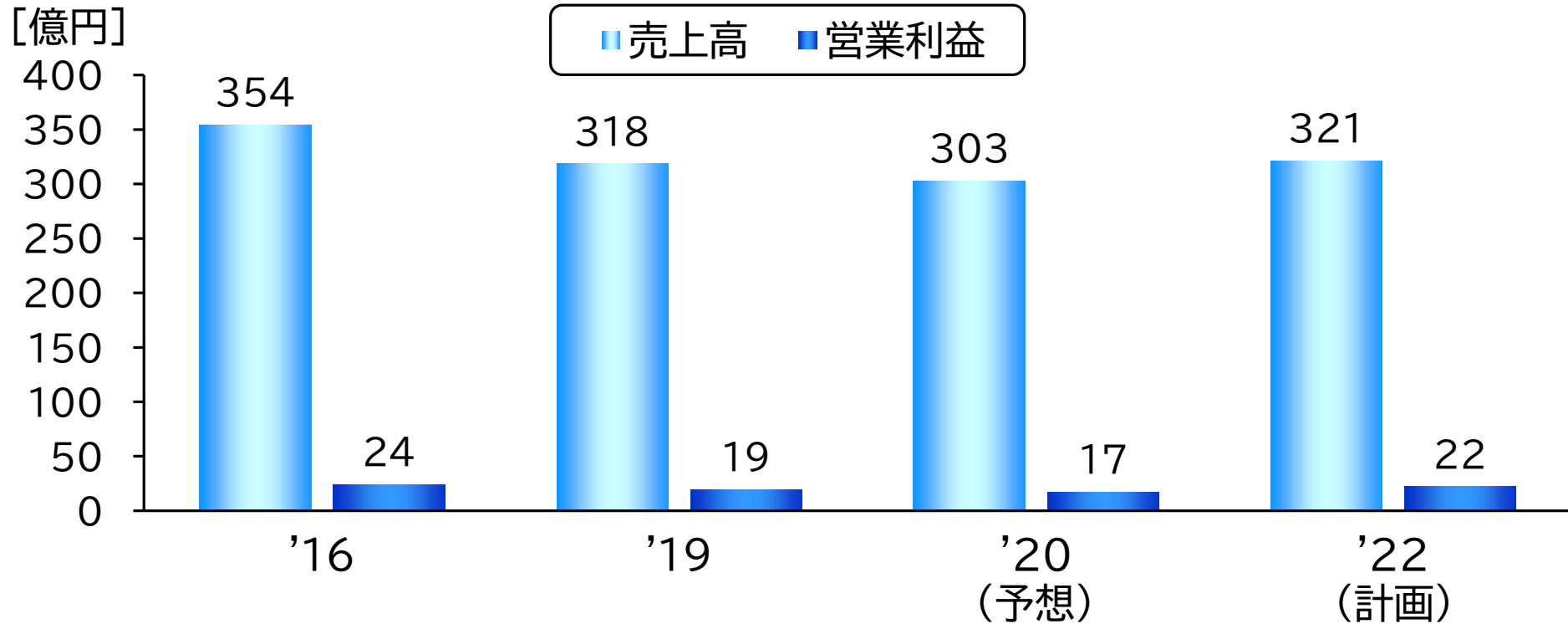
差別化製品	
➤ 高機能エステル	生分解性潤滑油
➤ 界面活性剤	低刺激性界面活性剤
➤ EO・PO誘導體	化粧品用添加剤
➤ 特殊防錆処理剤	水系防錆処理剤

業績推移(ライフサイエンスセグメント)



差別化製品	
➤ 加工油脂	製菓・製パン用・加工食品用機能性油脂
➤ 生体適合性素材	アイケアおよび皮膚外用剤用素材
➤ DDS	抗体・核酸医薬品用素材

業績推移(化薬セグメント)



差別化製品	
➤ 産業用爆薬関連	低振動・非火薬破碎薬
➤ 宇宙関連	H3用ロケット推進薬
➤ その他	示温剤、建設資材

2022中計 計画値

[単位:億円、%]

	2019年度 実績	2020年度 予想	2022年度 計画	2025年度 計画
売上高	1,809	1,670	1,880	2,200
営業利益	269	215	290	380
売上高営業利益率	14.9	12.9	15 以上	15 以上
ROA ※1	12.0	9.6	10 以上	—
ROE ※2	11.9	10.0	10 以上	—

※1 ROA:総資産経常利益率

※2 ROE:自己資本当期純利益率

2022中計の基本方針

挑戦と協創

重点課題

1

成長市場への事業拡大

2

新製品・新技術開発の加速

3

社内外との連携強化

4

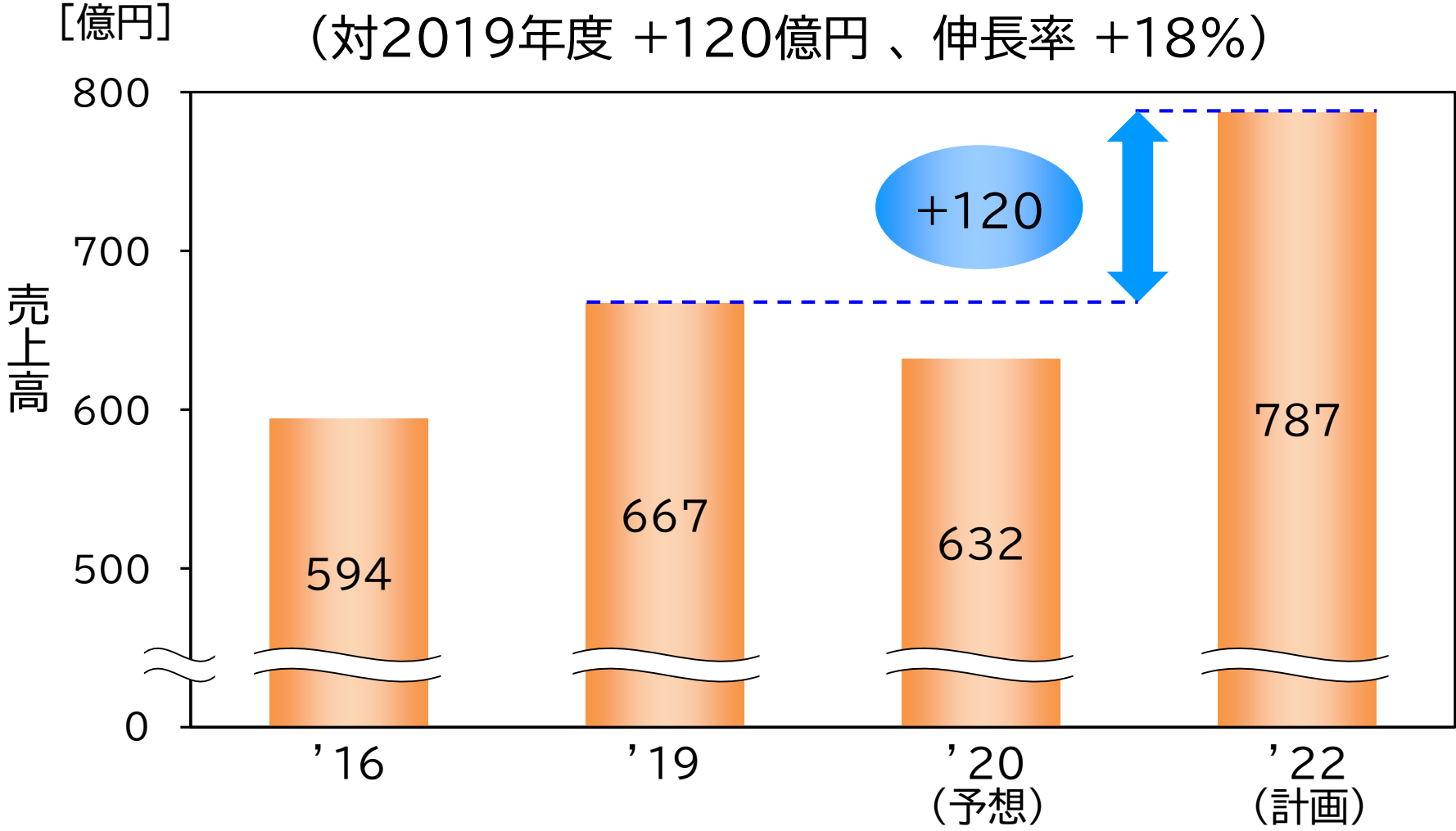
生産性の向上

5

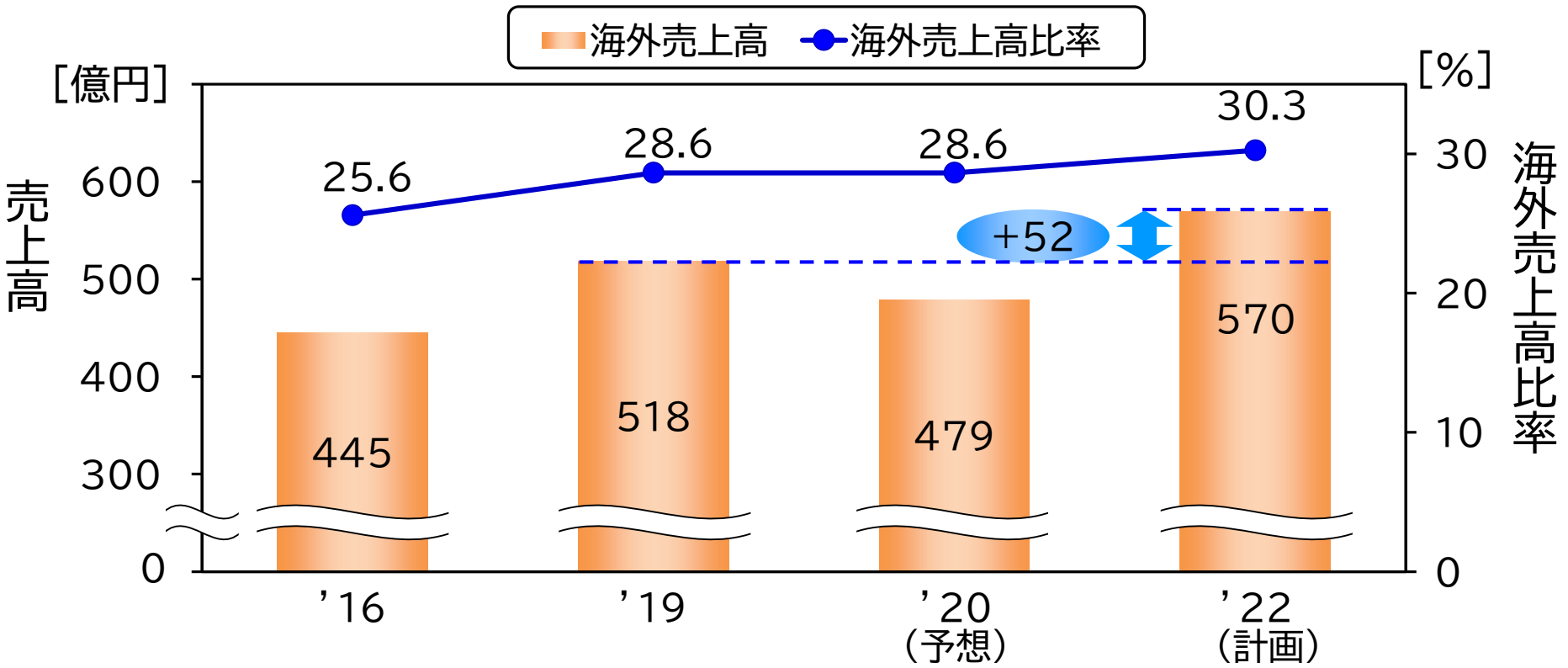
CSR活動の推進

高機能・高付加価値製品の売上高

◆ 「新製品上市の加速」・「研究テーマの拡大」を推進
(対2019年度 +120億円、伸長率 +18%)



海外売上高の実績・計画



	2019中計 2019年度(実績)	2022中計 2022年度(計画)
海外営業要員	対2016年度 +4%	対2019年度 +19%
海外売上高	対2016年度 +73億円(+16%)	対2019年度 +10%以上

新製品・新技術開発の加速

① 研究テーマ数の拡大

- ・研究本部新規事業開発室による新規事業の育成加速
- ・iCONM等を活用した新たな研究テーマの探索
- ・MIを活用した新素材の探索と新処方の開発

iCONM:公益財団法人 川崎市産業振興財団 ナノ医療イノベーションセンター

MI:マテリアルズ・インフォマティクス

② 産官学連携の推進

- ・オープンラボや国家プロジェクトの活用
- ・オープンイノベーションへの積極的な参画

セグメント研究開発費

	2019中計 (実績・累計)	2022中計 (計画・累計)	増減率
機能化学品	97億円	90億円	93%
ライフサイエンス	38億円	44億円	116%
化薬	45億円	44億円	98%
共通(コーポレート)	12億円	20億円	167%
グループ合計	192億円	198億円	103%

生産性の向上

①生産能力の増強と収益力強化

- ・高機能・高付加価値製品の需要に対する設備増強
- ・低採算事業の見直し等による収益力強化

②デジタル化の推進

- ・自動化・省人化の促進による業務効率改善
- ・生産・営業・研究におけるデータ活用拡大

	2019中計 (実績・累計)	2022中計 (計画・累計)
設備投資 ※	198億円	257億円
減価償却費	153億円	178億円

※ 検収ベース

生産性の向上の取り組み例

①生産

- ・機能化学品・ライフサイエンスセグメントでの生産能力増強
- ・品質保証体制の強化

②研究

- ・デジタル人材の育成
- ・MIの活用による研究開発効率の向上

③業務

- ・働き方改革(ペーパーレス化・テレワークの推進)
- ・RPAの活用、生産計画・マーケティング支援ツールの導入等

CSR活動の推進

①豊かで持続可能な社会実現のための新たな価値の提供

- ・事業活動を通じたイノベーションの実現
- ・目指す3分野での高機能・高付加価値製品の供給

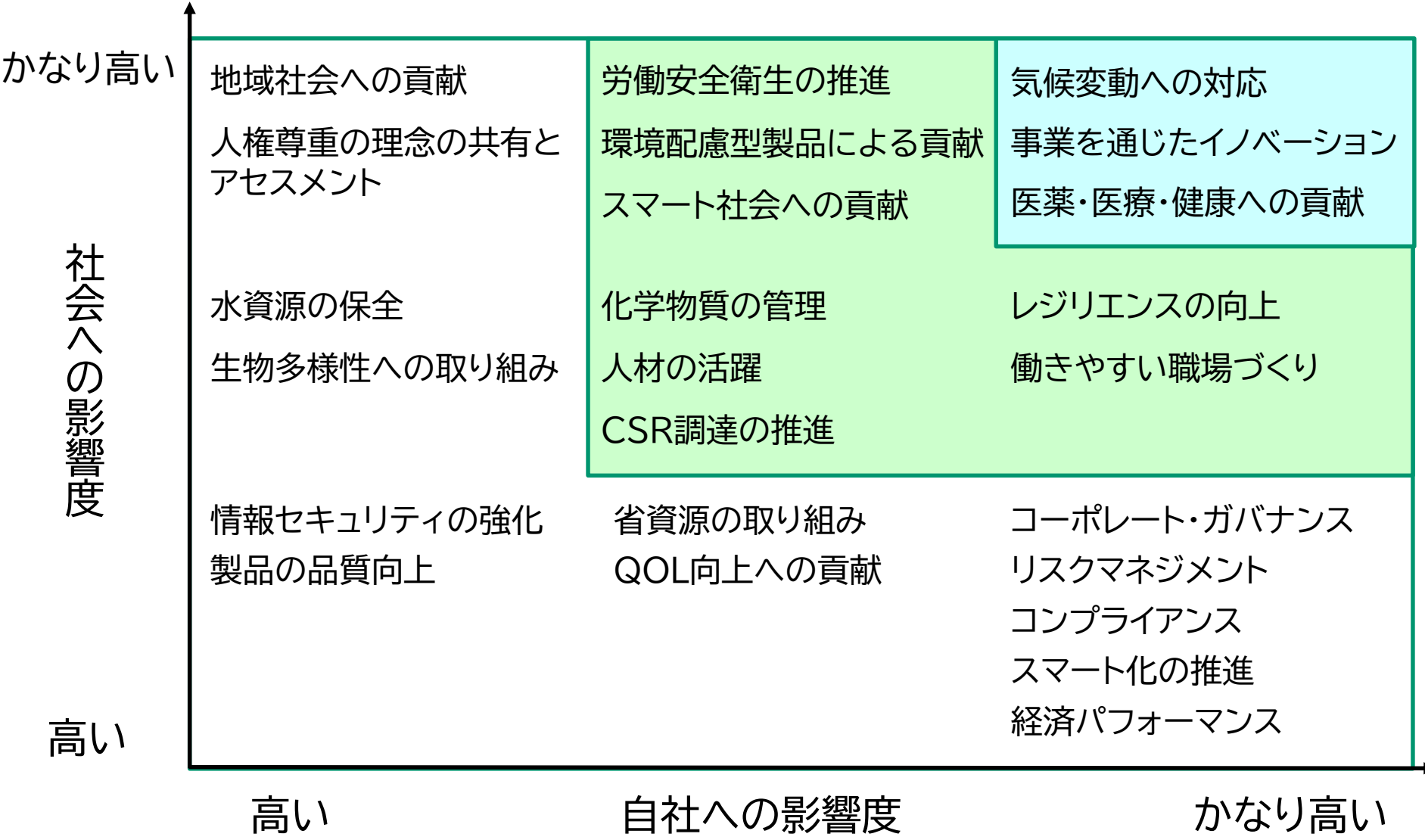
②事業基盤の強化

- ・働きやすい職場づくりと人材の活躍支援
- ・CSR調達とBCP整備によるレジリエンス向上

③レスポンシブル・ケア活動の推進


- ・化学物質の管理と労働安全の徹底
- ・気候変動への対応

マテリアリティ・マトリクス



SDGsへの貢献

豊かで持続可能な社会実現のための新たな価値の提供

<p>事業を通じたイノベーション</p> <p>医薬・医療・健康への貢献</p> <p>環境配慮型製品による貢献</p> <p>スマート社会への貢献</p>	
--------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

事業基盤の強化

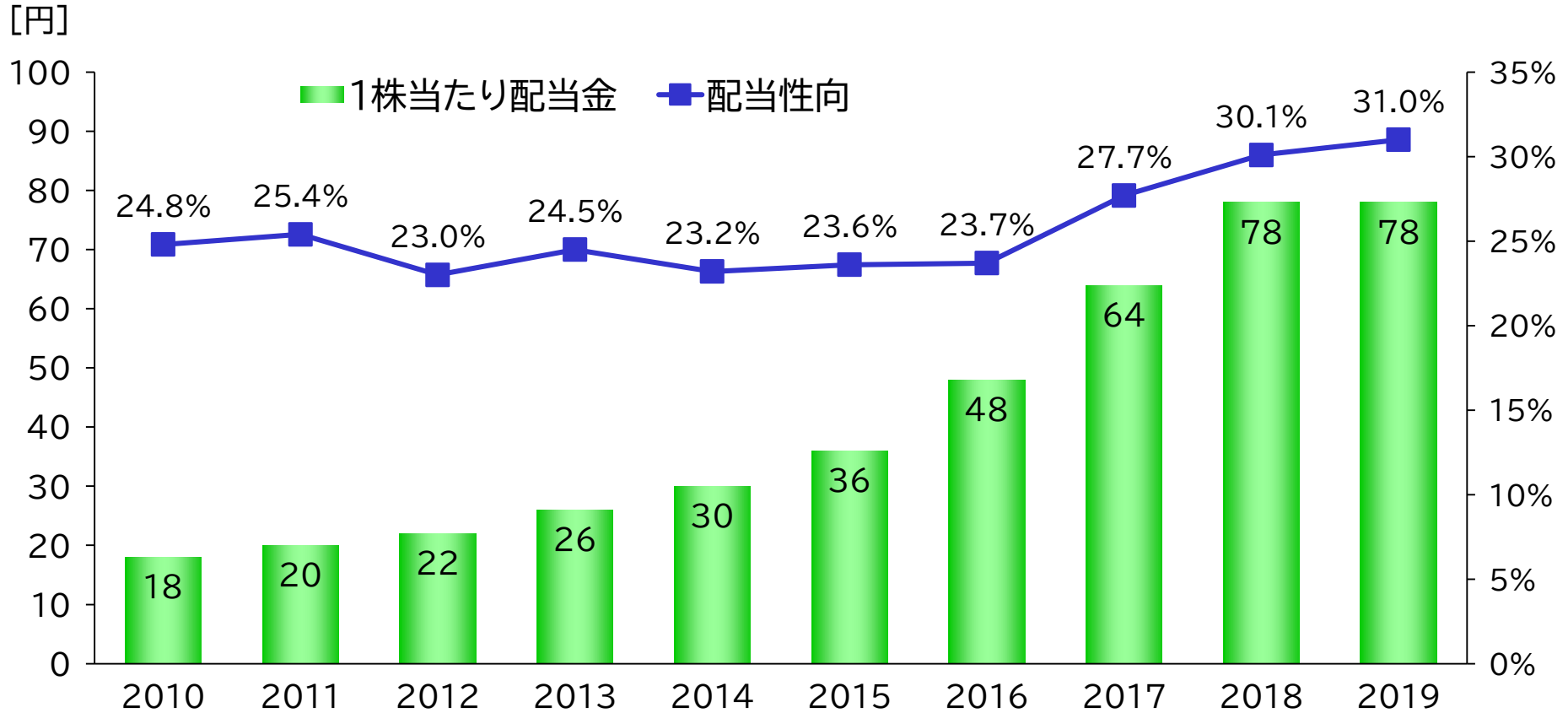
<p>働きやすい職場づくり</p> <p>人材の活躍</p> <p>CSR調達の推進</p> <p>レジリエンス向上</p>	
----------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------

レスポンスブル・ケア活動の推進

<p>気候変動への対応</p> <p>化学物質の管理</p> <p>労働安全</p>	
--------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------

株主還元

- 安定的な利益還元の継続
- 配当性向(連結)は30%程度を目標とする



注)2017年度以前の1株当り配当金は併合後(2→1株)の金額に置き換え

コロナ禍における対応

新型コロナウイルス感染症に対しては、各種の感染対策を講じて関係者の皆さまならびにグループ社員の安全確保に努めてまいります。また、引き続き生産活動をはじめ販売や物流の維持に努めてまいります。

< 感染対策例 >

- 在宅勤務・時差通勤の実施
- WEB会議等の活用
- マスクの着用および支給
- 飛沫感染防止用透明シートをデスクに設置
- 出張禁止区域の設定
- マスク・薬用ハンドソープの寄付(自治体)等

バイオから宇宙まで

From the Biosphere to Outer Space



日油

NOF CORPORATION



- ・本資料はあくまで弊社をより深く理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ・本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて弊社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- ・本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。
- ・本資料の金額表示は、億円未満を四捨五入しております。

お問い合わせ先：日油株式会社 経理部 IR室 森知明
住所：東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
電話：03-5424-6651
FAX：03-5424-1482
ホームページ：<http://www.nof.co.jp>